

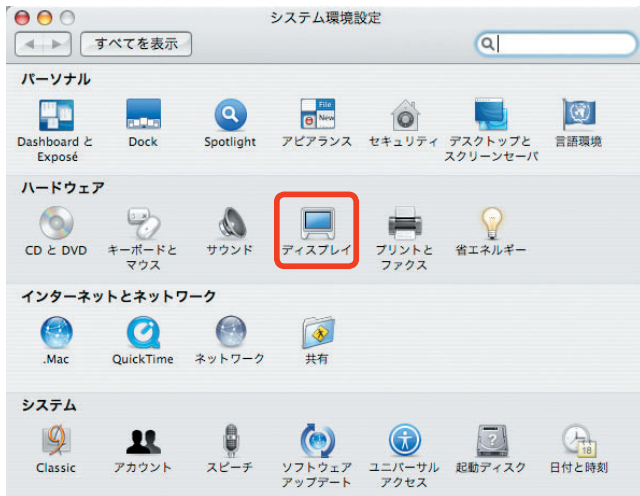
3-4 ディスプレイの色調整②

次にMac OS Xのシステム環境設定から行うキャリブレーションの方法について説明しよう。あまり厳密ではないが、手軽にディスプレイの色合わせができる。月に一度は実行しておきたい。

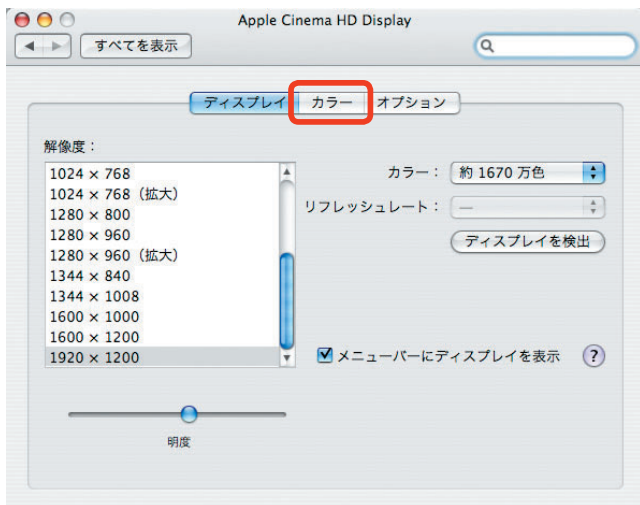
ディスプレイの色調整



① [システム環境設定] を起動する。



② [ディスプレイ] をクリックする。



③ [カラー] をクリックする。



④ [ディスプレイプロファイル] から使っているディスプレイに対応する適切なプロファイルを選択する。



⑤ [補正] ボタンをクリックする。

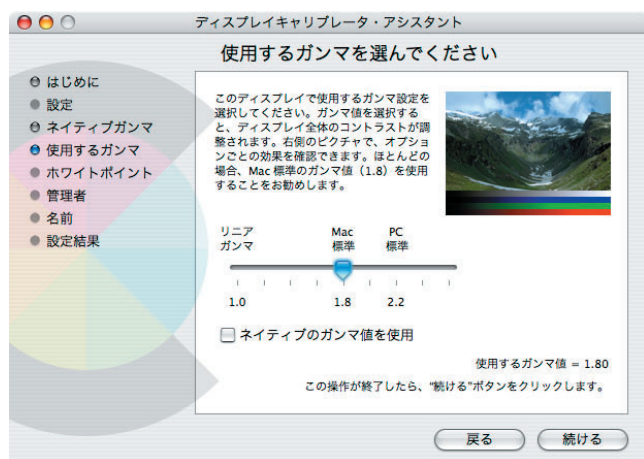
次ページへ続く →



6 ディスプレイの色表示を調整する [ディスプレイキャリブレーション・アシスタント] の開始画面になる。部屋を真っ暗にしてディスプレイの輝度 (明るさ) を最大にし、準備ができたなら [続ける] ボタンをクリックする (以下は詳細モードを選択した場合)。



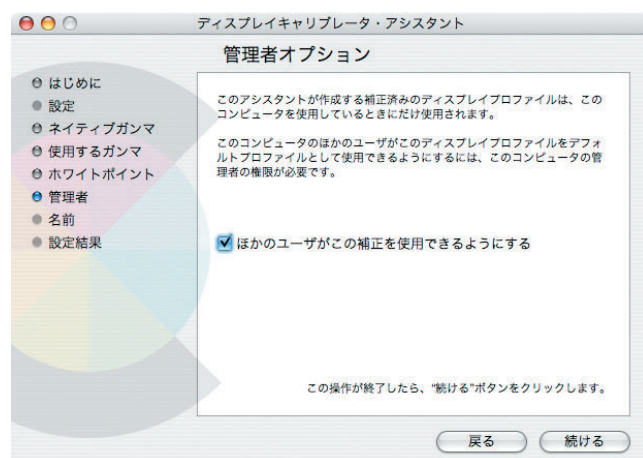
7 ネイティブ応答曲線の設定～まず左のつまみを上下に動かして、中央のグレイのリングが背景と同じ濃度になるよう調整する。次に右のつまみを上下左右に動かし、リングが完全に見えなくなるよう調整する。目を細めるとやりやすい。



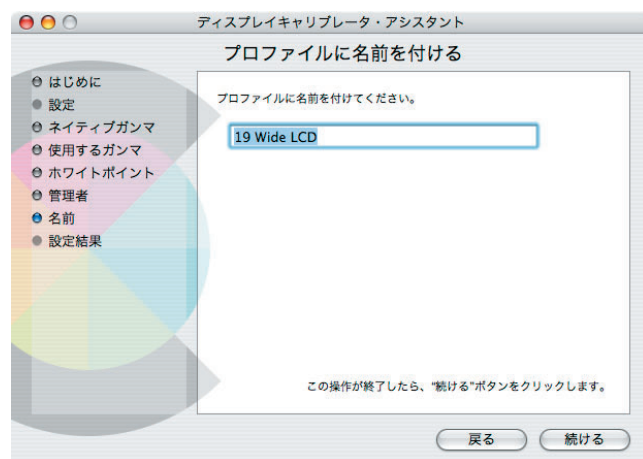
8 ディスプレイのガンマ (補正值) を設定する。Mac では通常は 1.8 とする。Web デザインでは Windows ユーザーを考慮して [PC 標準] の 2.2 とする場合がある。



9 ホワイトポイント (純白とする色温度) の設定画面。デザインやDTPでは [D50] (5000K) が標準。一般的な写真作品では [D65] (約6500K) に設定する。

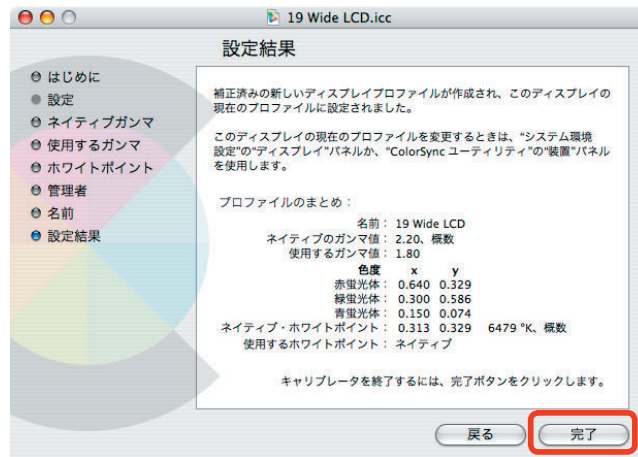


10 複数のユーザーでコンピュータを共用しているときは [ほかのユーザがこの補正を使用できるようにする] にチェックマークを付けて有効にする。



11 すべて調整できたら名前を付けて保存する。既存の名前を選択と調整した内容が上書きされるので注意する。

次ページへ続く ➡



⑫新しいプロファイルの設定結果が表示される。[完了] ボタンをクリックして終了する。



⑬作成したプロファイルがリストに表示され、クリックして選択状態にすればその補正内容が適用される。[補正] ボタンをクリックして設定を変更することもできる。